

大学におけるオンデマンド授業に関する 調査報告書

eラーニング戦略研究所
eLearning Strategy Research Institute

株式会社デジタル・ナレッジ <https://www.digital-knowledge.co.jp/>

目次

調査概要

P.3

サマリ

- | | | |
|----------------------------|-------|------------|
| 1. 大学におけるオンデマンド授業の実施概況 | | P.4 |
| 2. オンデマンド授業の動画コンテンツの現状と改善点 | | P.5 |
| 3. オンデマンド授業の課題と受講ログ活用への展望 | | P.6 |

調査結果

- | | | |
|---------------------------|-------|-------------|
| 1. 大学におけるオンデマンド授業の導入と実施状況 | | P.7 |
| 2. オンデマンド授業の動画コンテンツ | | P.14 |
| 3. オンデマンド授業の受講ログ活用 | | P.25 |
| 4. オンデマンド授業の効果と今後の課題 | | P.29 |

調査目的	大学におけるオンデマンド授業の実施状況や動画コンテンツの詳細、受講ログ分析への取り組み状況を調査すると共に、今後の課題とニーズを探る
調査手法	アンケート専門サイトを用いたWebアンケート調査
調査期間	2023年9月6日～11日
調査対象者	オンデマンド授業を実施している全国の大学の教員・職員 ※大学の属性：国公立大学53%・私立大学47%、総合大学75%・単科大学25%、通学98%・通信2%
有効回答数	100名
実施主体	eラーニング戦略研究所

- ✓ 大学が**オンデマンド授業**を始めた時期は「**2020年**」が**73%で最多**。
- ✓ コロナ禍のピークを過ぎた今もオンデマンド授業を行っている理由は、
「学生の特殊事情に対応できる」「出席率向上」「反復学習に最適」。
- ✓ **6割の大学が対面授業とオンデマンド授業を併用**。
- ✓ 教員の出張時や補講対応にオンデマンド授業を活用している大学もあり、
オンデマンド授業が大学における学び方の1つとして定着している
様子がうかがえる。

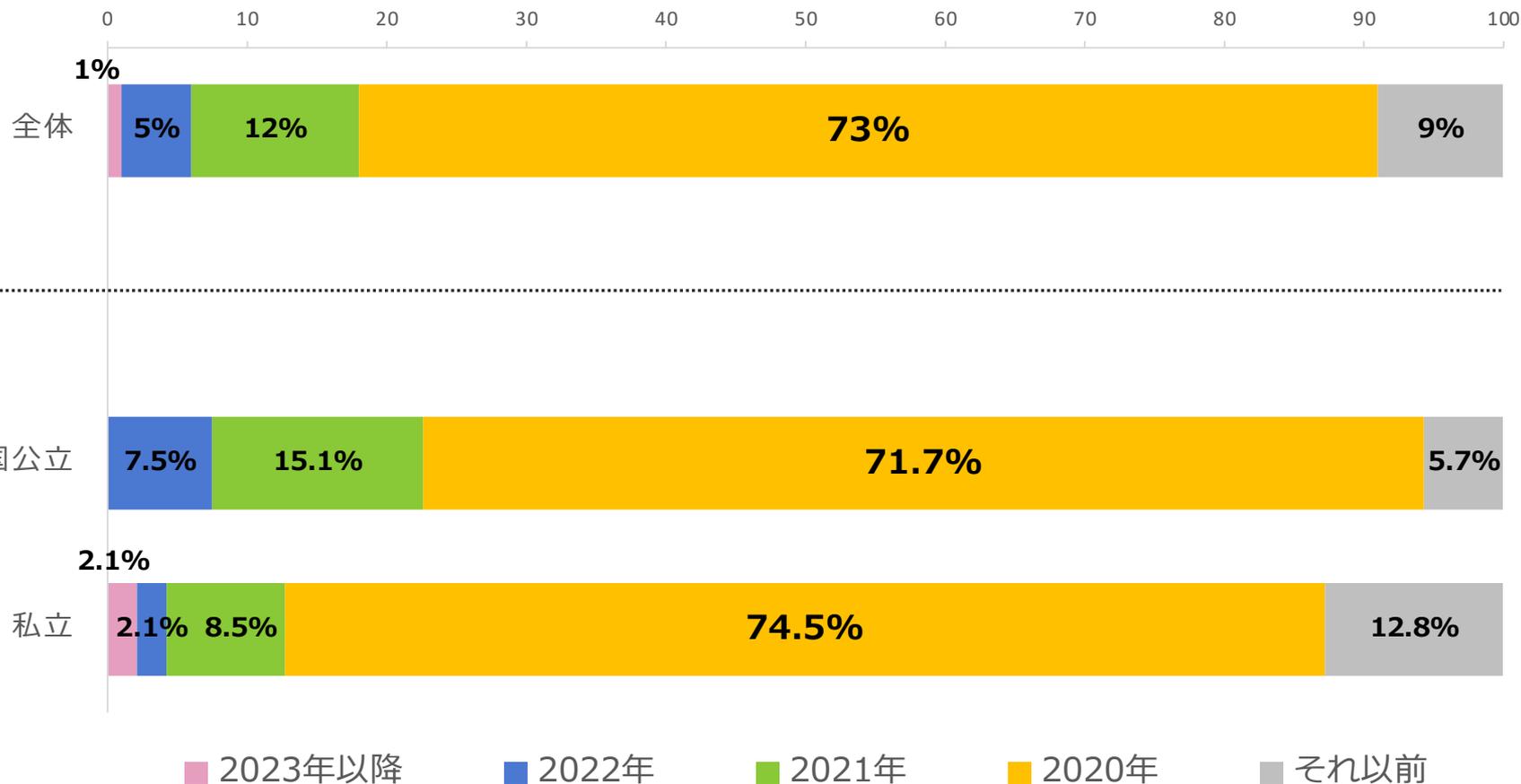
- ✔ コロナ禍において、**オンデマンド授業は「緊急導入」**であり、**「動画コンテンツ開発もとりあえずの対応」**となった大学が多かった。
- ✔ 動画コンテンツに対する自己評価は「大変良い」「良い」が3割。それ以外は、「工夫が足りない」「緊急避難的に行うレベル」「教員によってバラツキがある」など、改善の余地があると考えていることが明らかに。
- ✔ **動画コンテンツの84%は教員が作成、その負担は大きい。**
- ✔ **「わかりやすい見せ方・構成」「学生の興味関心を惹く工夫」「双方向性」といった、より教育効果の高いコンテンツが求められている。**
同時に**コンテンツ作成者の負担を軽減するツールや仕組みも必要。**

- ✓ 「成績が上がった」「履修者増加」などオンデマンド授業の成果は上々。その反面、**「学生の反応・理解度がわからない」「ちゃんと受講しているか確認できない」**といった課題も浮き彫りに。
- ✓ 「学生が視聴したかどうか」の簡易的なログ分析は半数の大学で行われているが、より詳細なログ分析で**視聴傾向を把握しコンテンツ改善を行っている大学はわずか3%**。ログ分析を**全く行っていない大学は43%**に上る。
- ✓ **「ログを取得・分析し学習状況や学生の行動把握をしたい」というニーズは高い**。国がデータ駆動型教育への転換を提言していることもあり、大学においても当該機能を搭載したシステム強化が進められる見通し。

アンケート調査結果

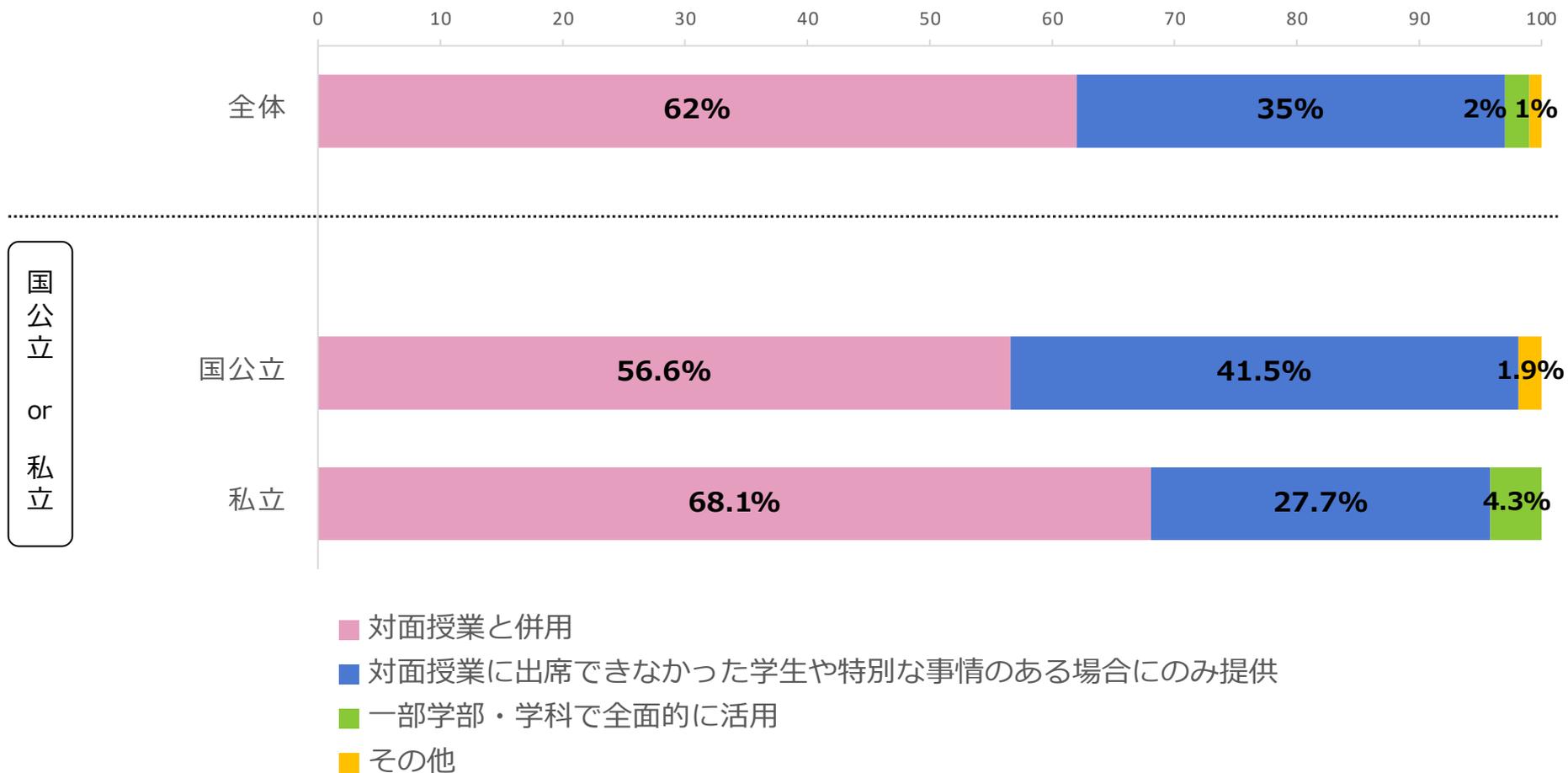
1. 大学におけるオンデマンド授業の 導入と実施状況

大学がオンデマンド授業を始めた時期は「2020年」が73%で最多。
 国公立大に比べると私大の方がオンデマンド授業の導入がやや早い傾向。



Q: オンデマンド授業はいつから実施していますか? (n=100)

6割が対面授業とオンデマンド授業を併用。
オンデマンド授業を日常的に実施する大学が過半数を占めている。



Q：オンデマンド授業の実施範囲について最も近いもの（回答日時点の状況）を選んでください。（n=100）

今もオンデマンド授業を実施している理由①

コロナ禍のピークを過ぎた今もオンデマンド授業を実施している主な理由は、「学生の特殊事情に対応できる」「利便性・出席率の向上」「反復学習に最適」。

<p>23%</p> <p>病気・ケガなど 特殊事情に対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・未だにコロナ感染で欠席せざるを得ない学生がおり、公平性の観点から実施している ・怪我、病気による通学が不可能な学生対応 ・いろいろな事情を抱えた学生がいるため ・公欠要件に該当する学生の教育機会を保証するため、要望があれば講義の録画を公開 ・導入されたのはコロナ対応のためであったが、現在は病気等で対面授業に出席が難しい学生や業務のため出席が難しい社会人大学院生の学びのために限定実施している
<p>19%</p> <p>利便性・ 出席率の向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学生の通学時間の無駄をなくしたいという要望に応じて併用しています ・全国から学生が参加できるから ・出席率が上がる ・学生のニーズがある ・学部によっては距離の離れたキャンパスを抱えており、初年次教育などは遠隔参加で行ったほうが教員・学生ともども負担が少なくなるので ・朝が早い1限の授業はオンデマンド形式にすることで学生が参加しやすくなるため
<p>18%</p> <p>反転授業・ 反復学習に最適</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・講義内容によっては好きな時間に繰り返し見られる点で学生にメリットがあるから ・内容によってはオンデマンドが適しているものがある。補習的な内容をオンデマンドで配信している ・オンデマンド教材が対面授業の補習に有効だという学生の要望に応えているため ・反転授業、アクティブラーニングの資料として利用しやすい ・繰り返し学習のため ・学生が理解が難しい部分を何回か聞けるため。 ・対面だけでは理解が追いつかない学生に対するアフターサービス

Q：コロナ禍が落ち着きつつあり、大学にも対面授業が戻ってきている中、引き続きオンデマンド授業を実施しているのはなぜですか？(有効回答数94)

今もオンデマンド授業を実施している理由②

教員の出張時や補講対応にオンデマンド授業を実施している大学も。
以上のことから、オンデマンド授業は大学における学び方の1つとして定着している状況がうかがえる。

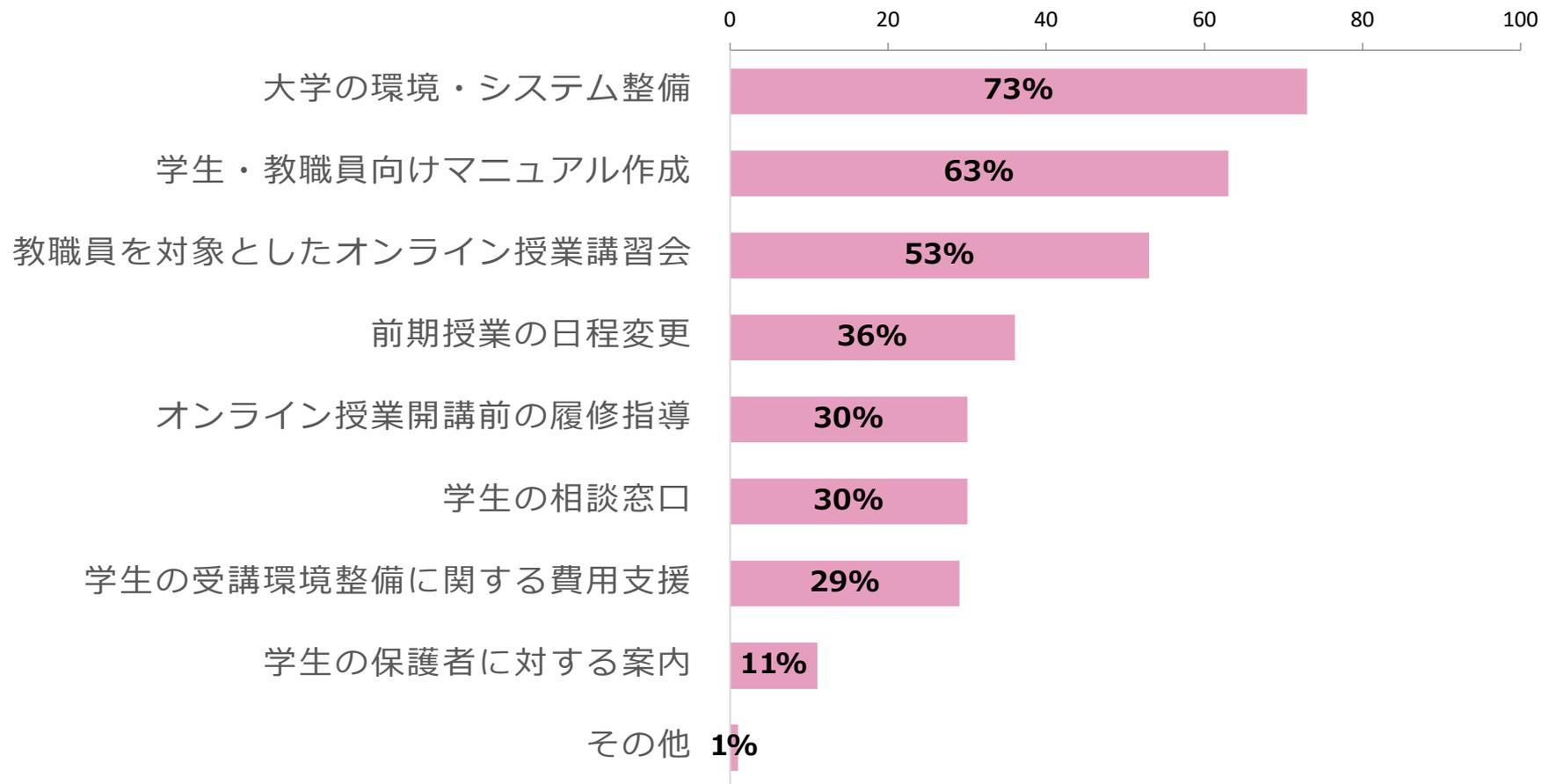
<p>17%</p> <p>教員側のニーズ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・出張でも休講しなくて良くなったから ・教員側のやむを得ない事情がある時のみ特例で実施している ・教員の負担が減る ・休講時の補講対応として実施 ・対面授業が実施困難な時のみオンデマンドで実施するようにしている
<p>6%</p> <p>教育効果 上がる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業形態によっては教育効果が有効だから ・オンデマンドのほうが学修効果の高い授業もあるので（自分で繰り返し見て確認問題を解くなど） ・予めオンデマンドビデオを見せて対面で実験指導をすることで教育効果を上げている ・繰り返し授業の内容が確認できることで、学習の効果が上がるケースがあると考えため
<p>16%</p> <p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・履修者数増加への対応 ・今後のパンデミックスに備えて平常授業に組込む ・学生の卒業後のIT能力の向上のため ・第一週目の授業(ガイダンス中心)で様々な授業を受けてから履修登録できるようにするため ・成績上位者はオンデマンド授業での出席を許可するとともに、研究室での研究活動や語学習得などのより高度な学習に取り組めるようにしている

回答から一部抜粋

Q：コロナ禍が落ち着きつつあり、大学にも対面授業が戻ってきている中、引き続きオンデマンド授業を実施しているのはなぜですか？(有効回答数94)

オンデマンド授業導入時の準備・対応

オンデマンド授業を導入するための準備としては「大学側のシステムや環境整備」「学生・教職員向けマニュアル作成」「教職員を対象としたオンライン授業講習会」などを実施。



Q：オンライン授業の実施にあたりどのような準備・対応を行いましたか？(n=100)

オンデマンド授業のシステム導入要件

オンデマンド授業のためのシステムは「安定的な視聴環境」「使いやすさ」「セキュリティ」などを重視して選ばれている。

30%	安定的な 視聴環境 <ul style="list-style-type: none"> ・安定した視聴が可能かどうか ・多数の学生のアクセスによる遅延をしないもの ・動作が軽くて環境を選ばないこと ・動画視聴のレスポンスやパフォーマンスの最適化 ・学生がいつでも視聴できる回線容量
28%	使いやすさ <ul style="list-style-type: none"> ・使いやすさ ・取り扱いのしやすさ ・作るほうも使うほうも負担が少ないシステム ・説明を見なくてもわかるかどうか ・操作が簡単で誰にでも使えること
10%	セキュリティ <ul style="list-style-type: none"> ・セキュリティ ・セキュリティ体制の確保
32%	その他 <ul style="list-style-type: none"> ・視聴管理 ・導入のしやすさ ・現有設備での実施 ・クラウド ・個別の学生と教員が他の学生に知られないように一対一の形でやりとりが行える個別指導コレクションといった機能があるものが必要であると考えて導入した ・オンデマンド授業にアクセスした回数と時間が学生ごとに表示されること

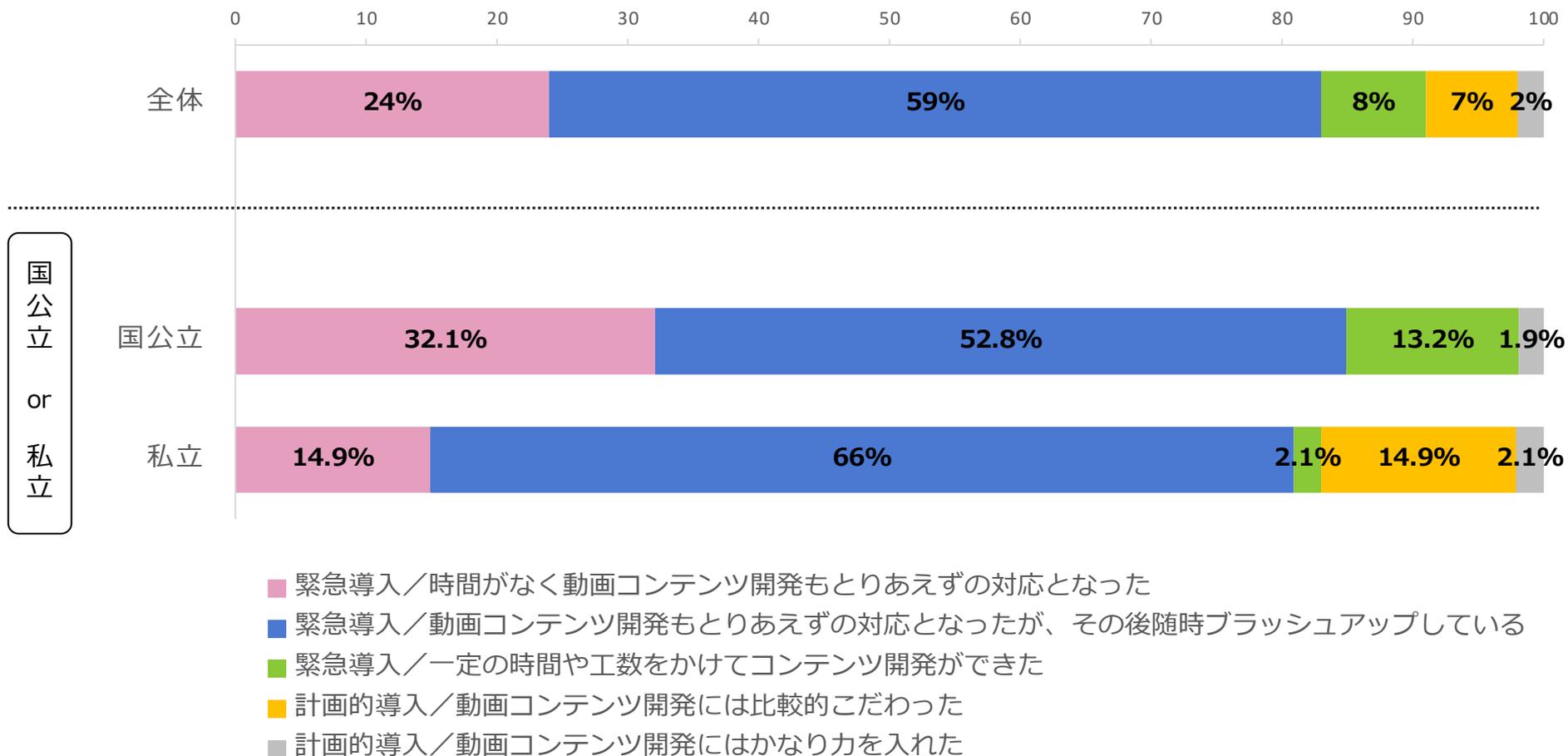
回答から一部抜粋

Q：オンデマンド授業の配信プラットフォームやシステムを導入する際に重視された要件を教えてください。（有効回答数40）

アンケート調査結果

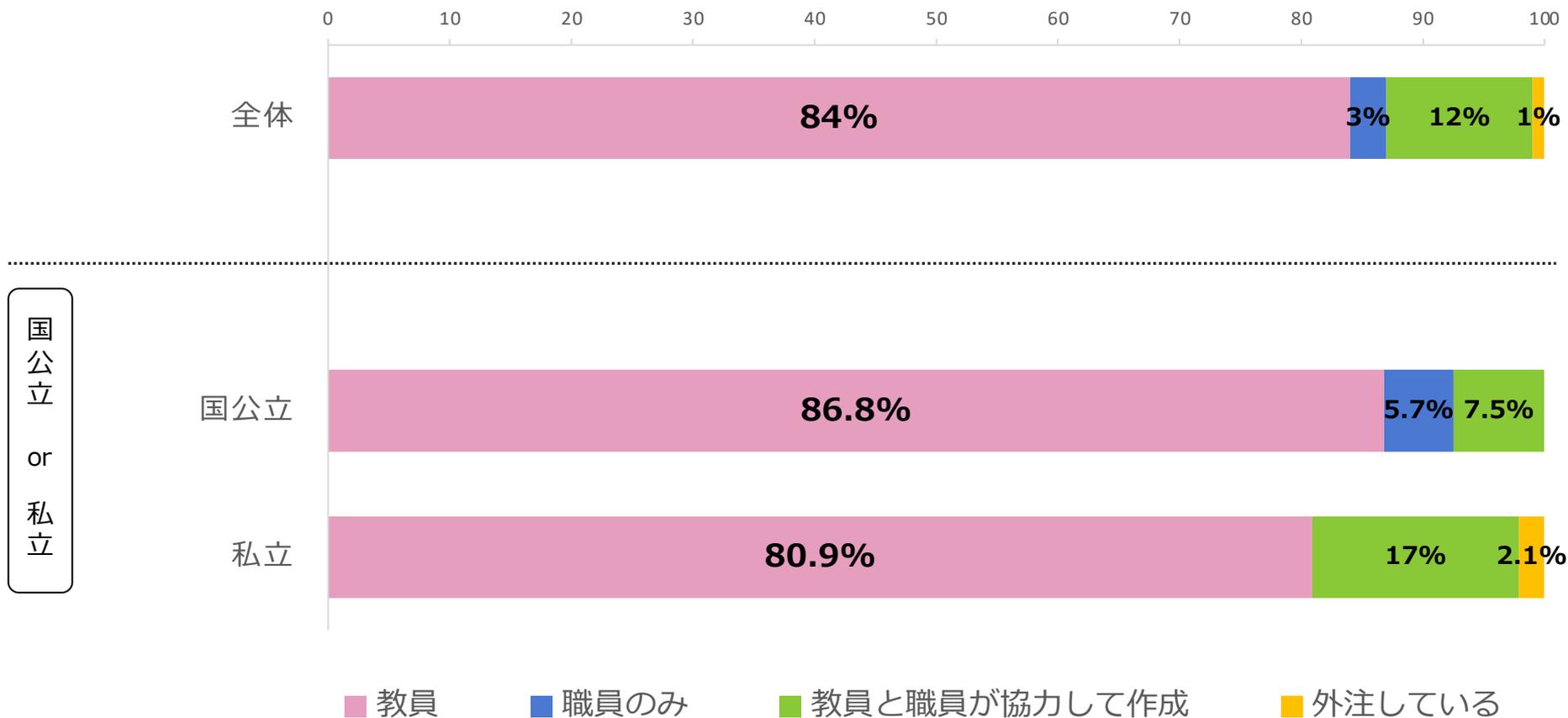
2. オンデマンド授業の動画コンテンツ

ほとんどの大学が「緊急導入」であり「コンテンツ開発もとりあえずの対応となった」と回答。その後、コンテンツを適宜見直している大学と、何もしていない大学とに分かれている。



Q：オンデマンド授業の導入はどのような過程を経て実施されましたか？(n=100)

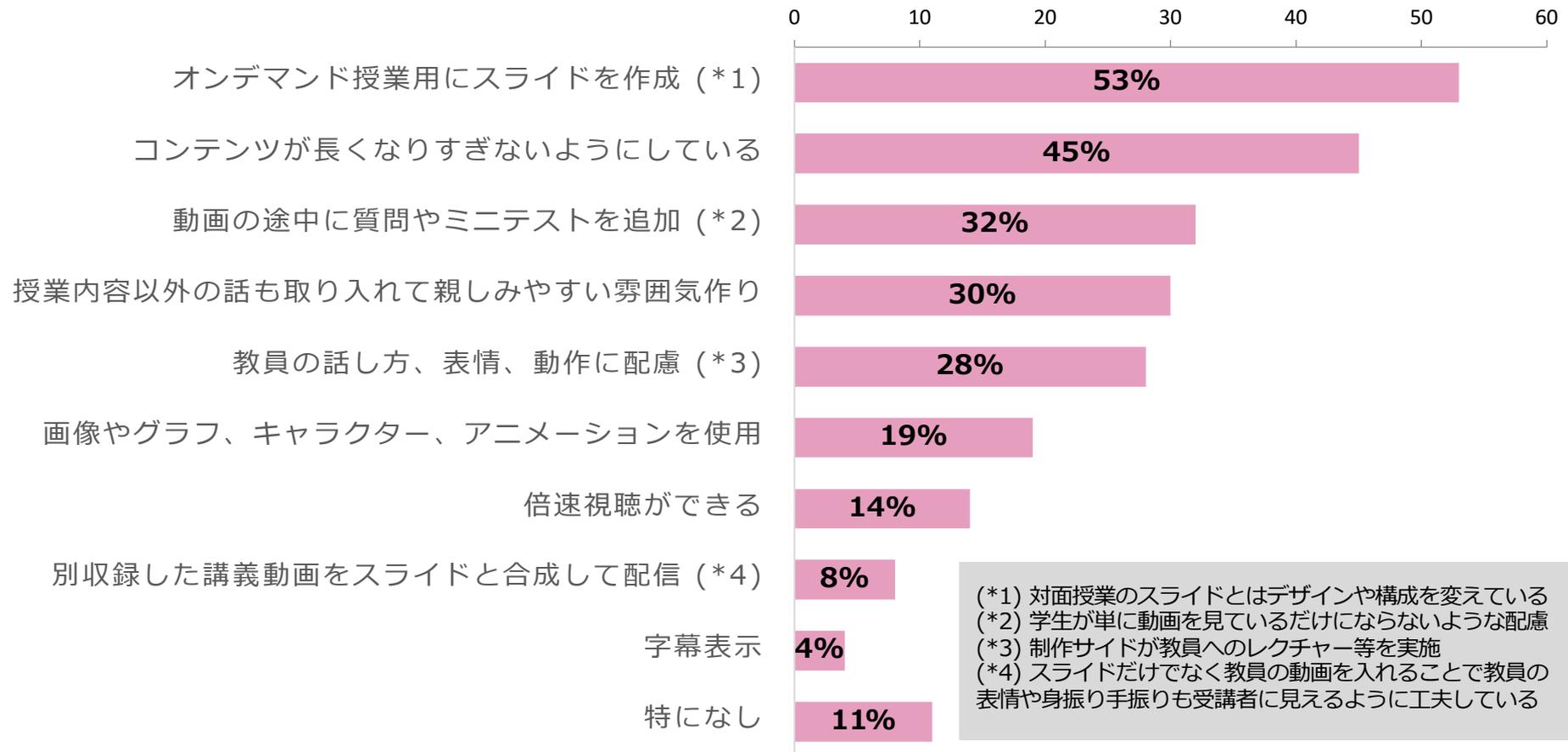
オンデマンド授業のコンテンツを作成しているのは84%が「教員」。
外注はほとんどなく、大学内で内製されていることがわかる。



Q: 現在、オンデマンド授業の動画コンテンツは主に誰が作成していますか? 近いものをお答えください。(n=100)

動画コンテンツに対する工夫

学生の興味関心を高めるために「対面授業とは構成などを変えてオンデマンド授業用のコンテンツを開発」「長くなりすぎないようにしている」など、さまざまな工夫が行われている。



Q：学生の興味関心を惹きつけ、飽きずに学習してもらうために動画コンテンツにどのような工夫をしていますか？ (n=100)

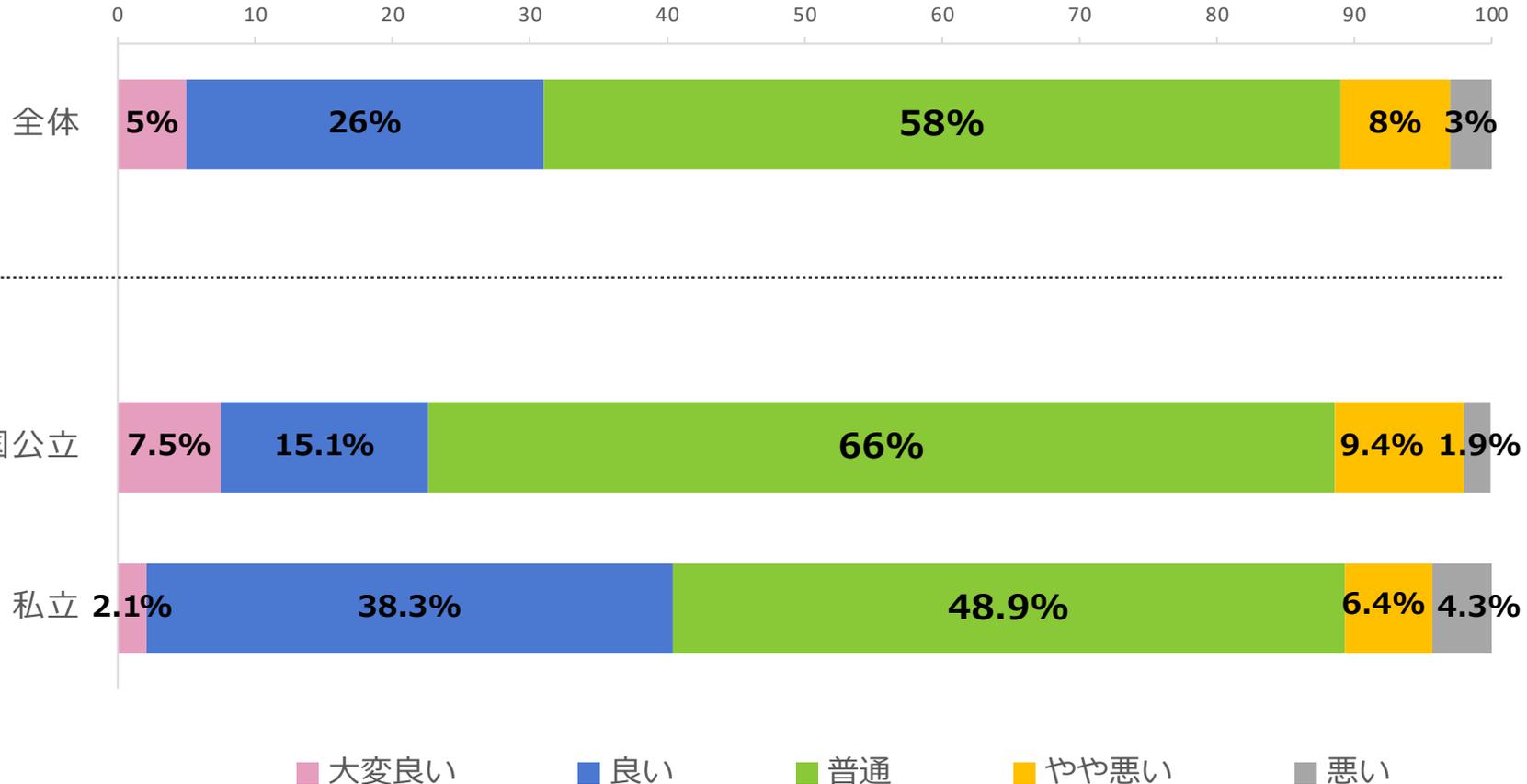
もっとも多いのは「著作権関係」。次いで「聞きやすさ・見やすさ」「動画の長さ・容量」など学生の視聴しやすさに配慮したルール化がなされている。

<p>37%</p> <p>著作権対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・著作権を侵害しないように ・画像、図表の盗用 ・データや他教材を引用する場合のルール、動画の保存ルールなどを策定 ・クリエイティブコモンズへの対応
<p>14%</p> <p>聞きやすさ 見やすさ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ゆっくり目に話す ・文字を大きくする ・授業スライドの文字のサイズや大きさを視認性が良いものにする（文字の色を黒や赤、青などにする、フォントサイズを24-60ポイントにする）などの工夫が求められている
<p>14%</p> <p>動画の 長さ・容量</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・長くし過ぎないということ以外はない ・特にないが、60分程度で見終わられるように、長い場合は複数の動画に分割する ・従量課金の学生のためにあまり大容量の動画にしないよう通達があった ・ファイルサイズを圧縮するなど、通信環境に配慮する
<p>35%</p> <p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一方通行にならないように、教員同士チェック体制を設けてます。 ・双方向性の確保（質問があとでもできるように） ・不適切な画像・動画への配慮 ・データ形式の統一 ・文科省の通達に準ずる ・学内で優良な動画コンテンツを作成した教員に、そのノウハウを紹介してもらって、その他の教員のコンテンツ作成に活かそうとしている

回答から一部抜粋

Q：学内で設けている動画コンテンツ作成時のガイドラインやルールがあればお答えください。（有効回答数35）

「大変良い」「良い」が31%、「普通」以下が69%という結果に。



Q：現在のオンデマンド授業の動画コンテンツについて、一教職員としての評価はどれに近いですか？また、その理由をお答えください。(n=100)

動画コンテンツに対する教職員の自己評価（大変良い・良いの理由）

高評価の理由としては「学生評価が高い」
「工夫されていて分かりやすく良いコンテンツになっている」といった意見が多い。

▼「大変良い」の理由

- ・気合いを入れて作ったから（国公立）
- ・相当内容が濃くて面白いものが多かった（国公立）
- ・使いやすい（国公立）
- ・アンケートの結果から（国公立）
- ・内容が分かりやすい（私立）

▼「良い」の理由

- ・わかりやすい（私立）
- ・学生には人気です（私立）
- ・学生にわかりやすい内容になっている（私立）
- ・学生の評価が良い（国公立）
- ・学生が十分に学びやすいコンテンツになっていることがフィードバックの結果から明らかだから（国公立）
- ・学生からのレポート提出が容易にできる（私立）
- ・まとまっていてわかりやすいなどの感想をもらっています（国公立）
- ・今後、通信制や社会人学生に対応できる（私立）
- ・授業全般にわたって写真やイラストを多用しており、大きなサイズの文字でわかりやすく内容を解説している点が評価されている（私立）
- ・復習に何度も見直せる（私立）
- ・自分のことしかわからないが、学内のスタジオを活用しているから（私立）
- ・受講しやすいように工夫しており、学習状況も確認している（国公立）
- ・遠隔でも理解できるように工夫が加わっている（私立）
- ・学生からするとスライドの文字や色が見やすく、扱っている内容もわかりやすい言葉で書かれているため、学習習熟度が上がったという評価をもらっている（私立）

Q：現在のオンデマンド授業の動画コンテンツについて、一職員としての評価はどれに近いですか？また、その理由をお答えください。（n=100）

動画コンテンツに対する教職員の自己評価（普通の理由）

評価は「普通」であるもののその理由は
「教員によってバラツキがある」「改善の余地はあるが時間が足りない」などネガティブな内容が目立つ。

▼「普通」の理由

- ・教員によってバラツキがある（国公立）
- ・教員間の偏差（国公立）
- ・各教員が独自に作成している（国公立）
- ・対面授業と同じで、教員ごとに上手下手はある（私立）
- ・良いものも良くないものもある（私立）
- ・インタラクティブな授業を展開できていないから（私立）
- ・今後の改善必要（国公立）
- ・改善の余地はあると思うので（私立）
- ・改善の余地はあるが時間が足りない（私立）
- ・対面にまさるものはない（国公立）
- ・対面で行う授業の焼き増し（国公立）
- ・対面にはかなわない部分も多い（私立）
- ・評価は分かれています（私立）
- ・クオリティの評価は行っていない（国公立）
- ・まだ戸惑いとニーズに応えられてないので評価は難しいです（私立）
- ・他と比較したことがない（国公立）
- ・仕方なくやっている（国公立）
- ・リアルタイムでの反応がわからないため（国公立）
- ・教育効果の評価（国公立）
- ・スライドで説明だけのコンテンツが多い（私立）
- ・他大学を知らないため（私立）
- ・見やすさはあるが早すぎると言われた（国公立）
- ・それ相当のものができているが、クオリティの高いものを作成する時間はない（私立）

Q：現在のオンデマンド授業の動画コンテンツについて、一職員としての評価はどれに近いですか？また、その理由をお答えください。（n=100）

動画コンテンツに対する教職員の自己評価（やや悪い・悪いの理由）

「工夫が足りない」「緊急避難的に行うレベル」「魅力的に作られていない」など厳しい意見が占めている。

▼「やや悪い」の理由

- ・教育効果が不明（私立）
- ・工夫が足りない（私立）
- ・スライドのみだから（私立）
- ・緊急避難的に行うレベル（国公立）
- ・魅力的に作られていない（国公立）
- ・対面授業よりも習得学力が劣る（国公立）
- ・専門ではない（国公立）
- ・あくまで緊急回避措置として作っているので対面講義の延長上のものでしかない（国公立）

▼「悪い」の理由

- ・そう思うから（私立）
- ・学生目線ではなく、大学の上層部目線で作られている（国公立）

回答から一部抜粋

Q：現在のオンデマンド授業の動画コンテンツについて、一職員としての評価はどれに近いですか？また、その理由をお答えください。（n=100）

動画コンテンツの改善点①

「わかりやすい見せ方や構成」「学生の興味関心を惹く工夫」など、より教育効果の高いコンテンツ作りが求められている。同時に、コンテンツ作成の負担を軽減するツールや仕組みが必要である。

<p>36%</p> <p>わかりやすさ 見せ方</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・音質を良くして聞き取れること ・音や映像のクオリティ ・ナレーションにAIを活用したい ・間の取り方 ・みやすい工夫が足りない ・構成 ・アニメーションなどの表現手法を増やす ・魅せる動画を作成するノウハウを全学で共有できるようにしたい
<p>19%</p> <p>作成をより簡単に</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教員負担が大きすぎる ・編集に時間がかかるので、それを改善できればと思っています ・もっと使い勝手の良い編集ツールが欲しい ・コンテンツ作成になるべく手間のかからないツールが必要 ・もっと簡単に作りたい ・簡単にアップデートできるしくみ ・対面講義を超えるものを作る技術も時間もないので履修すべきことが簡単に網羅できるような作りにしたい
<p>18%</p> <p>学生の興味関心を 惹く内容・手法</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学生の興味を引く方法 ・学生が飽きない内容作り ・飽きさせないよう工夫する ・学生たちがもっと積極的に参加できるための工夫が必要 ・双方向性が何とか加えられないか ・何をしたら学生が集中してくれるか調査して効果を分析していかないといけない

Q：オンデマンド授業の動画コンテンツ内容や作り方について、改善したい点があるとしたらどのような部分ですか？（有効回答数62）

動画コンテンツの改善点②

「倍速視聴ができないコンテンツ」「学生の反応が知りたい」といった声も見られる。

8%

厳選した情報量

- ・長すぎずコンパクトな内容を心がける
- ・授業内容と時間のバランス
- ・学生からスライドの枚数が多くて、情報量が多いため、もう少し絞ってほしいと言われている。一部の学生はオンデマンド授業の資料にアクセスするだけで、小テストに真面目に回答していないものがある。よって、授業で紹介する内容を厳選してコンパクトにする。また、小テストの内容を選択問題から記述問題に変えて、成績評価の配点を増やすなどして学生の授業への取り組みを向上させたいと考えている

19%

その他

- ・学生の反応が知りたい
- ・試験
- ・試験時間の管理
- ・オンライン理解度試問などの解説など学生へのフィードバックをより充実させたい。
- ・事務なり動画専門家の支援
- ・機材性能向上
- ・倍速視聴ができないようにしたい
- ・脱YouTube化
- ・著作権侵害行為のチェック
- ・前期後期での異なるコンテンツ配信など
- ・わかりやすくゆっくり喋ってしまうと、オンデマンドであっても本来の授業の時間よりも長い動画になってしまうので、分割するか、早送りで見聴してもらうかを、学生に伝えたり説明したする必要があるので、オンライン授業アップしている学習サイト上で、学生への連絡事項としてきちんと伝えていくように努力するつもりである

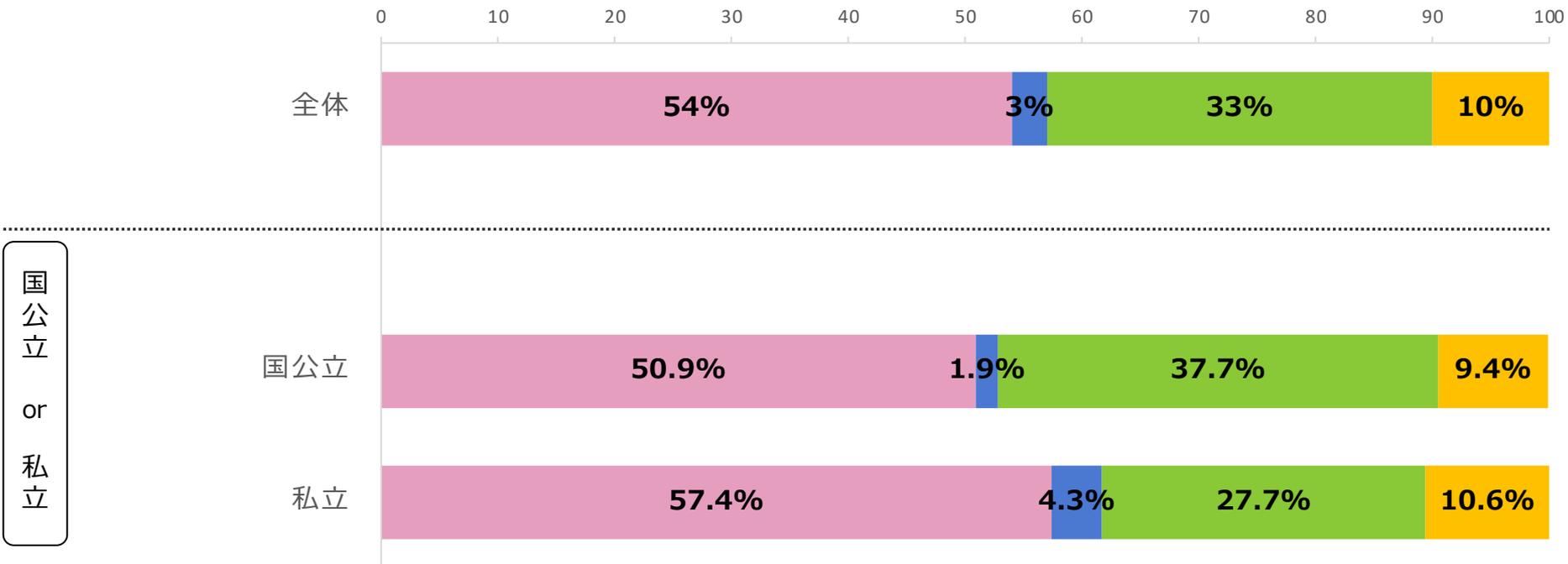
回答から一部抜粋

Q：オンデマンド授業の動画コンテンツ内容や作り方について、改善したい点があるとしたらどのような部分ですか？（有効回答数62）

アンケート調査結果

3. オンデマンド授業の受講ログ活用

「学生が視聴したかどうか」といった簡単なログ分析は半数の大学で行われている。一方で、より詳細なログを取得し、視聴傾向分析やコンテンツ改善に役立てている大学はわずか3%。受講ログ活用ができていない大学、システム上ログが取得できない大学も43%に上る。



- 主に受講履歴（視聴したかどうかなど）を確認するためののみ活用
- 受講履歴以外のログ（視聴速度の変更履歴、シークバーの操作履歴等）を取得して視聴傾向分析やコンテンツ改善に活用
- 特に何もしていない
- システム上、受講履歴データは取得できない

Q：オンデマンド授業で使用している動画コンテンツの受講履歴データをどのように活用していますか？近いものをお答えください。（n=100）

学生からのフィードバックは「アンケート」「課題・レポート・テスト」などで収集してる大学が多い。

<p>35%</p> <p>アンケート</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒への動画視聴アンケートを実施 ・授業アンケートを実施し、次期授業に活用する。 ・最終授業の後にアンケートを実施し、FD研修会の資料となっている ・授業評価アンケートにより収集され、教員にフィードバックされる ・授業評価アンケートを別途実施し学生の傾向やニーズ把握、授業の質的向上に役立てている ・以前から実施している評価アンケートをウェブ上で実施し、結果が会議で公表される。 ・講義期間終了後の学生アンケートの結果から把握、対応している
<p>11%</p> <p>課題・レポート・テスト</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回のレポート提出 ・課題提出。成績評価にも反映 ・課題を出すなどして、その成果などをgoogle classroomで確認している ・毎回課題をmanabaで提出。それを踏まえて次回の授業でフィードバック ・授業後の小テストをmanabaで実施しており、授業に関する感想や改善案について書いてもらっている ・授業後にオンラインの学習システムmanabaで小テストを実施しており、その際に授業の感想や改善点を述べてもらうようにし、それを取り入れて授業スライドを随時改良している
<p>9%</p> <p>システム</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・Forms等によりフィードバックを受けている ・学校の独自のシステムを使っている ・別途LMSを使って、その回の授業に密接に関連した質問に解答してもらい、確認している ・Moodleを用いて授業会ごとに質問を受け付け次の回にそれに回答することでコミュニケーションをとっている ・Moodle上での学生からのコメント

Q：オンデマンド授業の動画コンテンツに対し、学生からの評価・フィードバックはどのように収集され、活用されていますか？(有効回答数96)

一方で、「実施していない」大学も2割。
学生からのフィードバックをどのように収集・活用するかも課題と言える。

<p>13%</p> <p>収集方法は不明 だが活用している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次回の動画作成の際の参考にする ・ 授業改善に用いる。必要な場合、質問・コメントに次回授業で回答を示す ・ 次回授業時にコメントをフィードバックしている ・ 教員にはあまりフィードバックされていない ・ 出席確認や理解確認のため
<p>10%</p> <p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各動画に質問を書き込めるようにしてる ・ メッセージのやりとりによって。現状を知ってから、必ずフィードバックしています ・ 事務局収集 ・ 対面講義の時に学生と対話 ・ 各教員に任されている ・ 動画コンテンツのみに対する評価フィードバックは実施していないが、講義全般に対する調査を全講義で実施。 教員ごとに質問、コメントという形では収集
<p>21%</p> <p>実施していない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ オンデマンド授業に際しては、特に評価はしていない ・ なにもしてない ・ 集めていない ・ 補助的な使用であるので、特に組織的に行っていることはない。

回答から一部抜粋

Q：オンデマンド授業の動画コンテンツに対し、学生からの評価・フィードバックはどのように収集され、活用されていますか？(有効回答数96)

アンケート調査結果

4. オンデマンド授業の効果と今後の課題

オンデマンド授業の効果やメリット①

最大のメリットは「繰り返し視聴可能であること」「時間や場所にとらわれずに受講できること」。
それにより学習効果が上がったという意見も多い。

<p>23%</p> <p>繰り返し 視聴可能</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・何度でも聴講が可能になった ・何度でも視聴し、復習出来ることが学生から評価された ・何回も視聴できるため、真面目な学生は復習などに有効活用するようになった ・繰り返し見られるので、学生の理解度に応じた受講ができる ・繰り返しみることが出来るため 聞き逃したところも理解するまで視聴できる ・生徒が授業内容をいつでもどこでも何回でも聞き直せるところが効果的である
<p>21%</p> <p>時間や場所にとらわれない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・場所や時間をしばらない ・遠方から参加できる ・キャンパス間の移動の負荷が軽減 ・学生が時間にとらわれずに利用できる ・利便性の拡大 ・教員・学生とも自由度が高まった
<p>15%</p> <p>学習効果向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・提出課題のレベルが改善 ・対面とオンラインの併用で学生の理解は確実に深まった ・成績が上がった ・学生の成績のボトムアップ ・学生からのアクションが増えた ・オンデマンド授業にすることで、一日の時間割に沿った受講をしなくても、手が空いたときや、学習意欲が高まったときに受講してもらうことができるので、朝一番の授業でも学生が受講しようという気持ちになり、学習効果が高まるのが良い効果だと思っている

Q：オンデマンド授業の実施でどのような効果やメリットがありましたか？(有効回答数84)

オンデマンド授業の効果やメリット②

「毎回同じ質の授業を提供できる」「実習・演習・実験が効率的に実施できる」など授業の質が上がったという意見も。オンデマンド授業の効果は波及的に広がっている。

11%	履修者増加 <ul style="list-style-type: none"> ・履修者の増加 ・受講可能な学生が増える ・休まざるをえない学生が、学ぶ機会を確保できる ・病欠でも授業が受けられ、再試験や留年生が減った ・学生が通学時間に他のことに取り組むことが出来たこと、対面に比べると出席率が高くなったメリットがありました
8%	授業の質向上 <ul style="list-style-type: none"> ・毎回同じクオリティを確保できる ・授業力の向上 ・1人1人へのフィードバックが可能になる ・実習や演習で順次指導していく内容に並行してオンデマンド配信を行い、全体的な運用の効率化をはかれた ・その講義の時間の実験時間が確保できる
7%	教員の時間確保 <ul style="list-style-type: none"> ・同時開講が可能 ・国際会議に参加しやすくなった ・教員の時間がつくりやすくなった ・場所に拘束されずに授業ができること ・教員側も学会等で休校にする場合の補講の日程調整が不要になり、メリットがありました
14%	その他 <ul style="list-style-type: none"> ・コロナや悪天候にも対応できた ・対面授業を欠席した学生のフォローになる ・学生が複数の授業（特に同一時限）を実際に見てから履修登録できること。

回答から一部抜粋

Q：オンデマンド授業の実施でどのような効果やメリットがありましたか？(有効回答数84)

オンデマンド授業の課題①

一方、オンデマンド授業の課題は、
「学生の反応・理解度がわからない」「ちゃんと受講しているか確認できない」。

<p>20%</p> <p>反応・理解度がわからない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・リアクションがわからない ・学生のニーズ、集中度や理解度が分からない ・その場で学生の反応を確認することができないこと ・対面ではないため、理解度を顔を見て判断していた事ができない ・学生からのフィードバックを得られない ・対面授業では、ある説明に対し、学生がわかったのかわからないのかをある程度表情等で確認できるが、それが叶わないので、どれだけ学生の理解度があるかが図れず、臨機応変に対応できない点
<p>15%</p> <p>ちゃんと受講しているか確認できない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学生の受講態度が分からないこと ・ながら視聴、倍速再生等出席カウントのためだけの学生対応 ・学生がビデオを見ずに課題を友人からのコピーで提出してしまうこと ・現時点ではダウンロードしたことしかデータを取れず、本当に視聴して学習したのかが教員にはわからない ・学生が真面目に取り組むことを確認するのは簡単ではないので、授業資料へのアクセスの頻度やアクセスの時間、どの資料やスライドに多くの時間を費やしたかのデータが容易に得られ、グラフ等の視覚化ができると、学生の興味のある内容や難易度の高さ、どこを重点的に教えればよいか等の情報が得られるので、今後は学習システム上でそのような情報が得られるような改良が望まれる
<p>9%</p> <p>教育効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学力低下 ・ちゃんとしている学生とそうでない学生との格差が広がった ・学生の理解度にばらつきが出ること ・講義内容が本当に学生に身についたか確認・評価する方法の洗練

Q：オンデマンド授業の実施において、どのような課題があるとお考えでしょうか？(n=87)

オンデマンド授業の課題②

「講義が一方的になるのをどうにかしたい」「学生の集中力を高める工夫が必要」といった意見も。対面授業とのバランス調整も課題である。

9%	教職員の負担	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作成者側の労力・時間の負担 ・ 準備に時間がかかる ・ アップデートを怠ると古い授業となってしまうこと ・ コンテンツブラッシュアップのための労力。通常講義と両方の準備は時間的にも無理がある
7%	双方向性授業が難しい	<ul style="list-style-type: none"> ・ リアルタイムでの双方向性の欠如 ・ 講義が一方的になるのをどうにかしたい ・ 学生に考えさせながら進める少人数の授業には向かないこと ・ グループワークのやり方
7%	学生のモチベーション向上	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学生のモチベーション ・ 一定数の学生は、オンデマンド授業の動画を真面目に見ることなく、授業後の小テストにしてもいい加減に回答するものがいたので、やる気のある学生が集まりにくいと感じた。こうした授業への取り組みが消極的な学生については、もっと積極的な取り組みを行えるように、課題の内容を工夫するとともに、教員自身の動画を授業スライドに入れることにより、学生の集中力を高めさせる工夫が必要だと考えている
33%	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 対面でできるような学生と講師、学生同士でのコミュニケーションが取れない ・ 受講生のネット環境 ・ 著作権侵害行為のチェック ・ 漏洩、いい加減なことの発言が永久不滅に残る ・ 対面での授業とのバランスを調整していく ・ 課題は山積していて、継続するか否かを検討しないとイケない。ズームでの双方向の配信はかなり良い状態

回答から一部抜粋

Q：オンデマンド授業の実施において、どのような課題があるとお考えでしょうか？(n=87)

オンデマンド授業による教職員の負担・労働環境の変化

教職員の負担は増えたとする意見が多い。とくに教材作成が大きな負担となっている。
「初年度は大きな負担だが、それ以降は軽減」「一度作るとあとはラク」という意見も。

<p>46%</p> <p>負担増 とくに教材作成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教材作成の労力が増えた ・撮影に時間がかかる ・学生からのメールが増え、その面でも負担は大きい ・オンデマンドに慣れてない教員のサポートをすることになり逆に一部の教員の負担が増した ・教材作成は通常講義の3倍以上の時間がかかり、多大な負担がかかった。講義準備で深夜2時3時や朝4時から出勤なども ・動画を撮影してサイトにアップしたり、学生に動画URLやパスワードを知らせたり、毎回の授業の前後にいちいち連絡をしなければならず、作業量と情報量が授業動画以外でも大幅に増加したため通常授業と比べると細切れではあるがかなりの時間を要することとなった
<p>27%</p> <p>負担は 軽減された</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・初年度は大きな負担となったが、それ以降は負担は軽減された ・動画制作は大変だが、いいものを作ればその後の負担は軽減される ・一度作成すると次からは更新になるので準備は楽。 ・一度作るとあとはラク ・リアルタイムで授業を行うときは、こちらの物理的な時間が大きく奪われたが（通勤時間や授業を実施する時間がかかる）、オンデマンド授業ではそういう時間がかからず、普段の生活の中で手隙のときに細切れの時間を使って準備ができるので時間に余裕が生まれて気持ち的にも楽であった
<p>27%</p> <p>変わっていない その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アップロード直前まで内容の充実を試みられるので教材の出来がブラッシュアップされた ・効率化が図れた部分があり、また自宅などからでも授業ができるため、負担が減った部分もあるが、対面での学生サポートも増加し、負荷が増えた部分もある ・体力疲労は減ったが、心労疲労が増えた気がする ・全体的に見れば、変化はない

回答から一部抜粋

Q：オンデマンド授業の実施によって、教職員の負担や労働環境はどのように変化しましたか？(n=100)

オンデマンド授業の運用面における改善点

効果的なコンテンツをより簡単に作成したいという要望のほか、「ログを取得・分析することで学習状況や学生の行動把握をしたい」というニーズの高さも注目される。

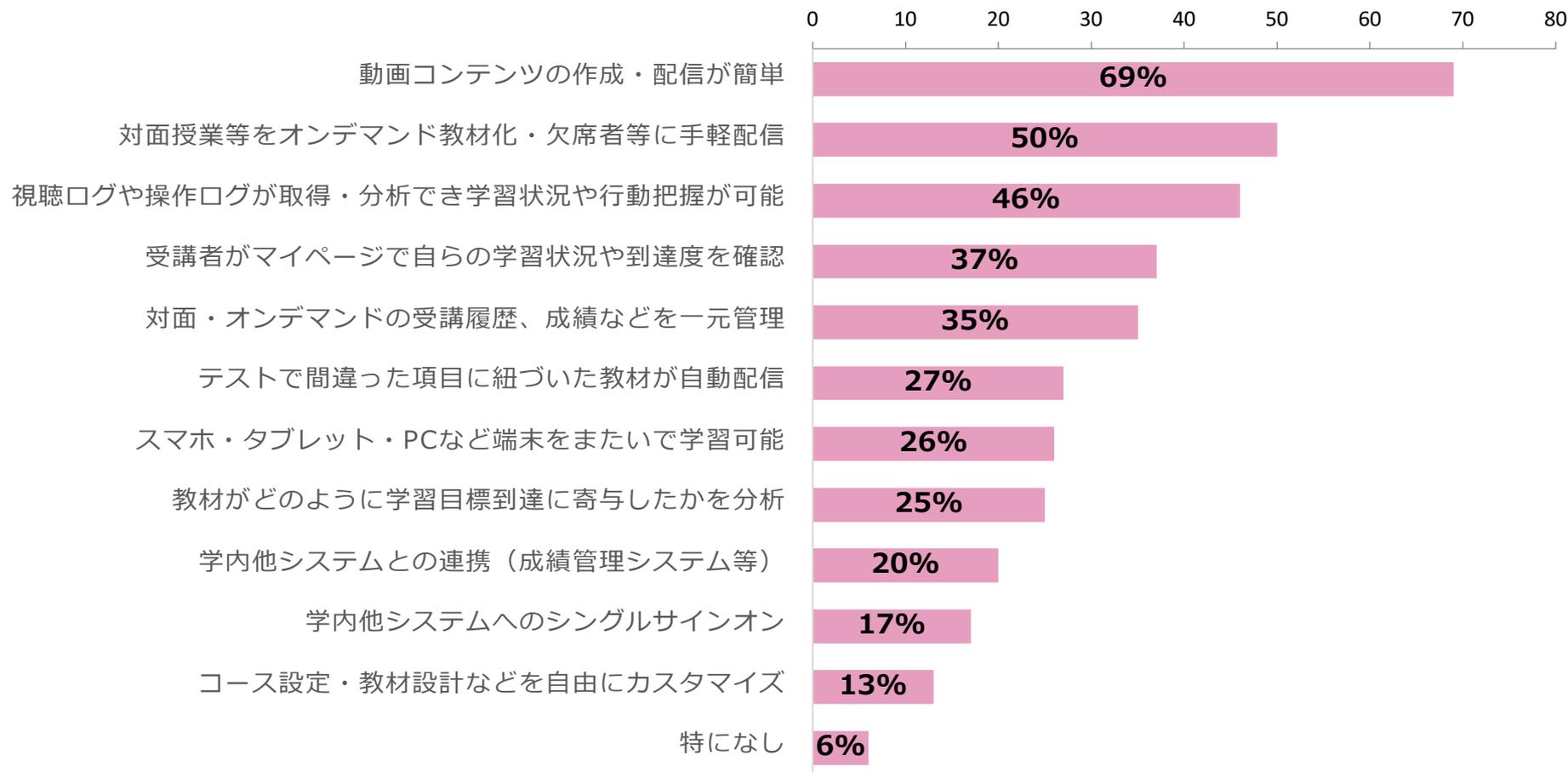
<p>30%</p> <p>コンテンツ改善 と機材設備</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・編集を容易にできる設備 ・機材や収録用の専用スペースが欲しい ・コンテンツ数の増加 ・受講者からの評価を基にコンテンツ修正など ・早送りができないように、作成者の意図どおりの視聴を実施したい ・キャプチャー分けしてあとから見返したいときインデックスがあると便利
<p>17%</p> <p>視聴ログが取得・ 分析できる システム</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・動画コンテンツの視聴ログを取れるようにしたい ・視聴履歴が取れて分析しやすいシステムであること ・誰が何回視聴したのかわかると成績との関連がわかるかもしれない ・学生が流しっぱなしではなく、きちんと見たかどうかを確認できるようにしたい ・オンデマンド授業全体の視聴時間の長さや、各スライドの視聴時間の長さを視覚化してグラフ表示するなどして、学生が興味のある内容がどんなものかや、扱う内容の難易度が高すぎないかなどを知りたい
<p>13%</p> <p>安定的な通信環境</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・安定して視聴できる通信環境 ・通信状況の改善
<p>40%</p> <p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・部分的に使っているので、その効果を検証したい ・試験等で悪用されないようにしたい ・学生の学生意欲の向上と習熟度のフィードバックシステムがもっとあれば良いと思う ・学生が視聴動画を溜めないで観るようにどうしたらいいか ・一方通行になっている教員も居るので、学科、学部教員の意識向上が必要。他教員の講義法には、基本的には不可侵のため

回答から一部抜粋

Q：オンデマンド授業の運用面について、改善したい点があるとしたらどのような部分ですか？(n=60)

オンデマンド授業に必要な機能やサービス

簡単に教材作成・配信できるサービスが求められている。また、国がデータ駆動型教育への転換を提言していることから、学習データやログの取得・分析は今後ますます重要になる可能性がある。



Q：今後もオンデマンド授業を提供していく上で、どんな機能やサービスがあれば便利だと思いますか。(n=100)

大学におけるオンデマンド授業に関する調査報告書

デジタル・ナレッジ 調査

検索

2023年11月発行

発行：株式会社デジタル・ナレッジ「eラーニング戦略研究所」
〒110-0005 東京都台東区上野5丁目3番4号 eラーニング・ラボ 秋葉原

Tel. 03-5846-2131 / Fax. 03-5846-2132

(禁無断転載・転用・複写)

eラーニング戦略研究所
eLearning Strategy Research Institute

株式会社デジタル・ナレッジ <https://www.digital-knowledge.co.jp/>